高校阿部野新聞
発行所　大阪市阿倍野区北畠　大阪府立阿部野高等学校
阿部野新聞　発行兼輯集者　京崎孝
印刷所　大阪市住吉区猪飼野五　新世界新聞社出版局
電話天（77）1769　1181

初の女會長成る！

清新の氣を注ぐか

第三期自治会は既報の通り植田会長の辞任にともない、是非共、自治会に清新の氣を吹き込む必要があったその爲、執行委員会では、種々審議の結果、第四期自治会の選挙を行い激戦の結果会長、一原貞子、副会長大竹幹夫、書記澁谷和一、会計玉國軍秋と決定した。

此処に無事四期自治会が成立前者の徹を埋まぬ様により大きな阿部高自治会を望むのが一般生徒の意見の様である。

九月一日、自治会（三期）執行委員会は第四期自治会を選挙する事に決定したが、同六日議会はこの案を通過もしめ選挙管理委員に中田三保子さんを選出、七月より立候補者受付に入った。最初の日は全然立候補者数は低調であったが八日のホーム・ルームで半强制的に各組より立候補者がでたので、十二人の多くの候補者が現れ、結局一名辞退し十名によって爭そはれる事になった。九日に締切ったが、十名の立候補であった。同十三、十四の両日選挙演説が講堂で授業をさいての熱心さで行はれ、男女入れ代り立ち代り壇上に飛び出して、非常な激戦であった。翌十五日朝一時限目各クラス毎に投票を行った。特に激しかったのは会長候補の三人で、一原貞子さんと三人の松田尚士さんとの間の得票爭いであった。結局、副会長の大竹君と道満君との間で午後より決選投票が行われ無事その日の中に終了したこの結果、会長に初の女会長、一原貞子さんが選出され、現在までの自治会と変った空気をかもし出すのではないかと見られる以下、副会長に大竹君、会計玉國君、書記澁谷と決定した。この中で惨のであった他は会長候補者倉君が得票、僅かに八十九票、その日は彼は授業を受けなかった。

九月二十日、愈々新自治会の第一回議会が開かれ、この日新旧の交替式があった。会長一原さんはその日の感想を議員間の融和に今まで欠けて居た様だが、今日は本当に皆の心が合っていて私は大変嬉しいと結んでいた。議事進行も非常にスムースに進んでいた様である。

一原會長談

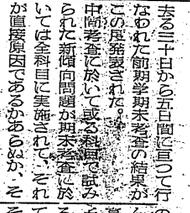
「当選の御感想は？」と何処にも出て来られた新会長の一原さんに早速こうお尋ねする。

「今はもう只無としてはっきりした事は云い難く思ひますが、当選の重責をにはかに荷ったその時、「私の最後の宣言」の贈り物としてたとい、校舎は狭くても美しい学園に、そしてその中で正しい学校生活をする事が大切である三十日から五日間に亘って行の結果がんでいるのは興味深いであるが、高一男子の成績が男女生徒に対してやや優っているという結果は今後に言って考へられている科目だけでもが生徒に歩をゆずっている高一男生徒の学力低下で非常に頭かはしい事実である。

男女生徒に対して最も欠点の多い科目は何といっても英語と数学であった。

山村先生談　「今度の成績が悪かった原因は、範囲が廣かったことと夏休みに遊ばすぎたこともあるが高一男子の低下は、欠席日数の多かったことにも原因している。これから「時的な勉強ではなく、こつこつと努力してたしかな智識を、身につけるように希望する。」

玉國會計談



さしあたって何も言う事はないが、ただ努力をあげてやっていくつもりである。然し、何分議員としても新人であり、又これが急に新委員になったため、解りにくい点も多いだろうが、その時は皆さんの協力を乞いたい。個人的にいたいことは自治会員の取立方法を完全に行う様にしたい

大竹副會長談

今迄の自治会はあまりに生徒から離れていると思う。然し今迄人々はそれを改め、努めたろうか、我々は責任も感じずに、事務的に日々を過している、それは自治会との融和を欠いて行くを只見迄っている、見に角、明朗性を笑いを失っている、その点を痛感し立候補し、諸先輩の信頼の下に当選させて戴いた。

澁谷書記談

当選した以上は自分のベストをつくして職務を尽くしようとする覚悟である、またスローガンにかかげた規約改正の件は文化祭終了後直ちに手をつけておくことも今年中にはピッチするつもりである、特に希望するのは会員諸君の絶大なる協力である然し私の聞く所だけでは全力をあげて、理想の学園を完成する心算であるが、その第一歩として、明朝月曜日から事を完成して行かうと思っている、それにも、皆の協力をお願いしたい

澁谷書記談

当選した以上は自分のベストをつくして職務を尽くしようとする覚悟である、またスローガンにかかげた規約改正の件は文化祭終了後直ちに手をつけておくことも今年中にはピッチするつもりである、特に希望するのは会員諸君の絶大なる協力である然し私の聞く所だけでは

玉國會計談

さしあたって何も言う事はないが、ただ努力をあげてやっていくつもりである。然し、何分議員としても新人であり、又これが急に新委員になったため、解りにくい点も多いだろうが、その時は皆さんの協力を乞いたい。個人的にいたいことは自治会員の取立方法を完全に行う様にしたい

自治會執行委員

会長	一原貞子
副会長	大竹幹夫
書記	澁谷和一
会計	玉國軍秋

學年代表

三年	野中照
二年	松田尚士
一年	道満隆

三年	洋舞
二年	演劇
一年	科學
三年	文藝
二年	歴研
一年	卓球
一年	送球

一般に成績低調

たゝる新傾向問題

今迄の自治会は自治会ちゃ、我々のやるべき任務だ、否それは単なる後のみ止まらない、場合には前の一の力とかつて、正しきを想い通さねばならない、そして、この問題の解決は自治会に課せられた一つの大きな任務とも言うべきものだ。その点に対して、前期会長代理倉君は、公約に結び、それを正式に自治会の手で、やらなかった事は落度であったが、それに努力した、事は事実に値しよう。

だが、以上の自治会の任務は決して、その幹部の者はかりにやって不可能な事は長倉君の事が証明している、自治会がこの問題の遂行の可能は真の自治会であると言う事を意味していると思う、自治会とは、"自ら治める"べき会"であり、生徒が自ら生徒を治めるには決して、團結なしにはなし得ない、即ち、自治会の根本精神は團結にある、その團結を最も必要とする

論說

校舍問題に關する我等の態度

今から一年半程共、我々は共学のどさくさの中にも生徒大会を開き二の校舍問題を取り上げたのであるが、遂に阿部野高校の校舎に別れを告げねばならなかった。それから七月二十五日付阿部高新聞第一号に更に今度は高校統廃合の問題を取り上げられているが問題解決の問題に対しては、一般生徒、即ち、自治会は何らの活動もなかった。全く、傍観の形であった。（長倉君がやっていたと言うが、正式でなく、個人としての果して、これは傍観していて良いものだろうか、我々は考える必要がある。府も市も学校を廃校し、統一しようと言う事は『決して容易な出来事でない。』ただそうとすれば多くの反対を受ける、だが、つぶさぬわけには行かぬ。と言う様な矛盾した無理の多い事柄である。市とは高校の收容力は未々、余っているのだから、末々廃校し得る者だと言っている。と言って、行ふと、何処の学校も一パイであり、理由を持って反対すると言う様な事柄だ。その時の自治会の力は非常に弱いものだその例を港高に取ると、教育委員会は港高に廃校を提案したが、それには、港高としては非常な不利な條件にある者だ。何故なら同区に二つの高校を持つ、且つその近くは爆撃原で通学者は遠くの方からの者であり、又現在では確かに在校していない、と言う状態にある。それには、自治会は署名運動や色々な手段で歎願し、その結果なのである。それで、解る様に、決して、自治会の力は小なるものでない。相当、強い力を持っていると言う事が解るのである。勿論、現在の阿部高として、絶対に廃校の恐れはないだろうが、校舎問題はその一つでない。来年四月に阿部野区には九百人からの進学希望者があり、本年卒業生は倍が百人弱である。これで行くと、来年は百人しか募集出来ず、残りの八百人は、近くに立派な高校を見ながら悲しの高校に行かねばならない結果となる。故に、問題は寸前にあるんだ。決して、ゆっくり構えていられないのだ。何らかの処置をとらねばならぬ。その間に、現在、先生、PTAの方で色々と運動は行って下さっているが、その力よりかえって、我々の力が強大なのだ。フランスの革命にしてもそれに反する、日本の軍閥時代の自由主義者達を見ても解る事実だ。フランス國民の一人一人の熱意がその一國を改革するに及び、それに反して、日本の軍閥時代の自由主義者は戦ったが、その後の力は非常に小であった為、遂に牢獄につながれる結果となったのだ。

だが、この問題である、かく言うと、今迄の自治会は自治会ちゃ、我々のやるべき任務だ、否それは単なる後のみ止まらない、場合には前の一の力とかつて、正しきを想い通さねばならない、そして、この問題の解決は自治会に課せられた一つの大きな任務とも言うべきものだ。その点に対して、前期会長代理倉君は、公約に結び、それを正式に自治会の手で、やらなかった事は落度であったが、それに努力した、事は事実に値しよう。

だが、以上の自治会の任務は決して、その幹部の者はかりにやって不可能な事は長倉君の事が証明している、自治会がこの問題の遂行の可能は真の自治会であると言う事を意味していると思う、自治会とは、"自ら治める"べき会"であり、生徒が自ら生徒を治めるには決して、團結なしにはなし得ない、即ち、自治会の根本精神は團結にある、その團結を最も必要とする

時事解說

廢校の懼れ無し

殘すは教室不足

去る九月二十日、新聞部長京崎君の手に統廃合に関する廃校の要望を述べた投書が来、二十六日に、それが動機で統廃合問題の係である阿部高等学校の問題が新聞紙上に出て来られた新会長の一原さんに早速こうお尋ねする。

「今、阿部高等学校の問題が新聞紙上に出て来られた事は、我々の問題として、誠に嬉しく思ひます。」

華やかに記念祭開かる
体育祭・文化祭の全容
堂々

菊花薫る十月二十七・八の両日に亘り、第二回文化祭が毎日会館に於て開催される運びとなつた。これに就いて、五日正午より文化祭準備委員会を開き、行事の大綱を次の如く決定した。

第一日（午前）
文化クラブ発表。
小林先生独唱、
仕舞。
（午後）
舞踊。
書道。
第二日（午前）
映画「最初の舞踏会」「馬」（文化映画）
劇（職員有志出演）
（午後）
劇（演劇部員出演）
劇（三年生有志出演）

これを八日午後一時より開かれたP・T・A委員会に提案。P・T・A委員会はこれを全員一致で可決し、着々とその準備を進めている。なお正式なプログラムの作成は十三日になる予定。

一方、各文化クラブの活動状態はとみると、

演劇部　十月七日、練習場として使用している第二教室を訪れてみた。

黒板には"緊張れ！文化祭迄三週間"と記されており、その隣りには

7日　P・M1－7
8日　A・M8・30－12
9日　P・M1－6
10日　P・M0－6
11日　P・M1－6
12日　P・M3・30－6
14日　休日

右の如き練習予定表が書かれてあつた。

休日も返上しての大張切である。練習の間々に聞くと"鴨頃"（無川敏郎作、所要時間、一時間三十分）を上演するとの事。

配役は、

母　千加、本田三　呉子
長男　保雄、中村　忠正
長女　房枝、上原　和子
次男　克彦、中村　進一
養女　知子、原　克子
敬子　雁沢、松田　尚士

の壮々たる面々である。

練習を開始してから未だ、日が浅いので、何んとも云えないが、その熱心な練習は自己自己に実を上げ、その成果は大いに期待される。

生物部　去年から、二つ三つと積み重ねた研究を発表すべき、年に一度の大祭、文化祭の日が近づきました。当日の間際になつてまごつかぬ様に、展覧会の準備も出来上つていたのですが、今年は会場の関係上、展覧会が出来ないので実践致度です。でも、部員一同、展覧会が出来なければ他の事でと大いに張り切つて居ります。

準備委員の要請に依れば、上品なものをせよ、との事ですが、余りにも興味がなくなりますから、生物部としては自由な考えで、皆さんをあつと云わせる様な事をお目に掛けるつもりです。

尚、内容については当日迄お預り致しておきましよう。ちよつぴりだけ申しますと、医学を茶化するつもりです。

舞踊部　私達の日頃の練習の成果をお見せする絶好のチャンスである文化祭を目前に控えて、安永先生始めとし、茶道部の方々の御指導を得て、大いに張切つて居ります。学生舞踊の本道をわきまえて最新流行の商業主義的なダンスとは、異なるところが大きいと思います。だから、あく迄、高校生としての自覚とプライドを持つて文化祭に臨み、一層、意義深からしめたいと考えているのです。

内容については、当日迄、楽しみにお待ち下さい。

皆さんの御声援を切に期待致します。

音楽部　本校音楽部は独立校舎を持たぬ為、本格的な設備のないのが、なによりの痛手です。しかし、この不備を克服する為に、一生懸命に練習に励み、今日の日の来るのを待つていたのです。

計画としては、生徒を主体とする文化祭であります故、あくまで生徒を主体として、その内容に触れてみると、

高一、二　混声合唱
高三　女声合唱
音楽部々員　合唱
田中尚子（三年）　独唱
岡井千鶴子（〃）　ピアノ独奏
小林先生　独唱

等を計劃しています。

又、観覧的内面をも考慮して、外部よりの来演をお願い致すつもりです。

歴研部　再三再考をかさねた揚句の果、一應は古墳時代より場面急変して現代に至るという、奇抜なものを演ずるという仕組。

部員一同はりきつているから、皆さんの御期待をどう次第です。

尚チャストは不明です

情熱の舞まわんかな！

今年の七月八日、今で丁度四ケ月、また未熟なクラブではあります、部員一同、全力を尽して雄弁大会を行いたいと思つています。

出場者は今のところ三名の予定で、内容は主として自治活動に就いて、文化祭に適したものにしたいと思つていますが、何分未熟なので、結果はどんなになるか心配です。

当日、話す原稿の内容については、文化祭当日迄、発表は避けたいものです。でも思想的なものや宣伝的内容としたものは、一切やりません。

どうか、今後の弁論部に、皆様の御声援を切に致します。

科学部　約二十分の間隔で、何か科学クラブの主題をと云われて、実は困つた。展示舞台で実験も見すぼらしい。皆んなで考えて「科学者の三ピリードを演じたら」と云う様な世界を毎日会館の舞台に繰出したらと云う案も出たわけだが、先日来面にクラブの遠足に出掛けた日とうとう話がまとまつた。世は原子力時代、一体原子はどんな様で行動をするのか？聞く皆さん御承知だが此の機会にもう一度勉強しようぞと云う事になつた。授業の合間には固苦しいので、肩が凝らずに皆んなに復習して貰うつもりだ。その秘策は、それはお楽しみに残しておこう。期待あれ。

新聞部　ラヂオ放送の日曜日に行われる、三木鶏郎グループの冗談音楽の様に、阿部野高新聞の針の穴を守劇にして、演ずる予定で、その装飾などはあまり用ひない。しかし充分面白い、皮肉な事が出来るだろう。只一人、新聞人が新聞の服を着て、その最後に"新聞"と題して一席、する積りである。少々、期待あつて、しかるべし

生命の源泉スポーツ
体育祭に寄せて
M生

秋は運動のシーズンとして我々の胸に深く銘記されている。誠に過ぎ去つた大会のもとで一日を身体活動に過ごした感慨しても、亦愉快な事はない。我々しも、亦愉快な事はない。我々国民高等学校連合全国的な国民体育大会が催され、又地方々々或は各学校に於ては夫々の環境に応じて、社会体育大会或は学校体育大会が実施されている。現今終戦と言う大戦争に依り、新しき人間を要求する様になつた。換言すれば新しい人間を必要とする様になつたのである。そして教育は人間を養成する人間を必要とする様になつたのである。

又新しき教育を要求するのは必然的である。今や体育は教育であることは言をまつまでもない。従つて新しい体育は新しい世界観にたつて行われなければならない。過去に於ける学校体育大会は所謂敵部中心主義の生徒の成果を公開するという統制的な傾向があつたが、今度、文化祭に映画が加えられたことは実に喜ばしい事である。

さて、"最初の舞踏会"は一九四二年度製作、フランス映画で監督は、クリスチャン・チャック。主演として、マリー・デイがある。これは戦争中の作であるのに、微塵に戦争の暗い陰は見出せない。二人の姉妹が、一人の男を同時に愛する。しかし、勝気な妹がその男と結婚する。優しく美しい姉は郷里で自分を愛し続けて呉れた人の許に還るという、実に顔覆な筋ではあるが、やはり、ほのぼのとした優しさを感じるところ。

クリスチャン・チャックは種々な部類に属する映画を製作して居り、この作品の前には"カルメン"なる大作を作つて居る。又、この後では、"幻の馬"を撮つている。

マリー・デイは戦後、有名になつた女優で、主なる作品は"マルセル・ガルネ"、"巴里は夜来る"である。

學生演劇に就いて　中村準一

普通比された言葉ですが、それで本当の意味を知つている人は必要な人でしょう。

演劇とは一体どんなものでしょうか言葉自体をとつてみるなら THEATER という言葉をもつて演劇とする時あれば DRAMA という語を用いる場合もあります英語では PLAY 独語では SCHAUSPIEL というのであります語源をたどつてみるなら、ギリシヤに於ける劇場（ディアオマイ）指示するのを見る所

――（ドラン）――動作する

この様な点から、演劇とは、物を指示する動作を見出せる所で見ることであるといえます。

生活体が人格特性を直接、提出して、観客の前で各種の社会的環境の中に於ける各様の性格に成り変り、社会的性格、力の諸葛藤を感覚的に、又視覚的、聴覚的に、即ち言葉と動作と表情とをもつて表現し、知覚させる藝術であります。

演劇とは綜合藝術であるだけに藝術手段に複雑な変化を生じうる生れる心の落着きによつて、その変化は所謂、絵画の進歩等――建築術の変化、絵画の進歩等。――だから、演劇のなかに他ならません。そして、その差は百年を出でず、

嘘娘上演に際して
演劇部
……日光をたつぷり、人間らしく生きよう……

世界が二つの陣営に分れて、はげしい対立抗争の中にあり、われ等もその対決を迫られている時、ソ連が原子爆弾の製作に成功したというニュースは、全く私を朗らかにした。理由の一つは、これで三次大戦は起るまいということ、二つは資本共産両主義を越えた新しいイデオロギーを実付ける絶好機が出来るとの二つであつた。

一については原子爆弾は、わが広島、長崎に於て実験済であるように、人類を滅亡させるほどの威力あるものであり、その最新のものの破壊力は、更に何百倍かといわれるにおいては、良識ある二大国民は、先んじて用いるとは考えられないからである。もし原子爆弾を用いるとしても、一挙に相手の全機構を破壊しなければ、自らも即殺されるを免れない。そのようなことは先ず考えられないから

これは、世界の歴史に新意義を加えるものである。

二については資本共産両主義を越えるイデオロギーを実付ける絶好機が出来るとの二つである。

これで三次大戦は起るまいということ、二つは資本共産両主義を越えた新しいイデオロギーを実付ける絶好機が出来るとの二つである。

一については原子爆弾は、わが広島、長崎に於て実験済であるように、人類を滅亡させるほどの威力あるものであり、その最新のものの破壊力は、更に何百倍かといわれるにおいては、良識ある二大国民は、先んじて用いるとは考えられないからである。もし原子爆弾を用いるとしても、一挙に相手の全機構を破壊しなければ、自らも即殺されるを免れない。そのようなことは先ず考えられないから

二については原子爆弾は、わが広島、長崎に於て実験済であるように、人類を滅亡させるほどの威力あるものであり、その最新のものの破壊力は、更に何百倍かといわれるにおいては、良識ある二大国民は、先んじて用いるとは考えられないからである。もし原子爆弾を用いるとしても、一挙に相手の全機構を破壊しなければ、自らも即殺されるを免れない。そのようなことは先ず考えられないから

新文化の黎明
文化祭に寄せて
中西清忠

世界が二つの陣営に分れて、はげしい対立抗争の中にあり、われ等もその対決を迫られている時、ソ連が原子爆弾の製作に成功したというニュースは、全く私を朗らかにした。理由の一つは、これで三次大戦は起るまいということ、二つは資本共産両主義を越えた新しいイデオロギーを実付ける絶好機が出来るとの二つである。

一については原子爆弾は、わが広島、長崎に於て実験済であるように、人類を滅亡させるほどの威力あるものであり、その最新のものの破壊力は、更に何百倍かといわれるにおいては、良識ある二大国民は、先んじて用いるとは考えられないからである。もし原子爆弾を用いるとしても、一挙に相手の全機構を破壊しなければ、自らも即殺されるを免れない。そのようなことは先ず考えられないから

世界が二つの陣営に分れて、はげしい対立抗争の中にあり、われ等もその対決を迫られている時、ソ連が原子爆弾の製作に成功したというニュースは、全く私を朗らかにした。理由の一つは、これで三次大戦は起るまいということ、二つは資本共産両主義を越えた新しいイデオロギーを実付ける絶好機が出来るとの二つである。

一については原子爆弾は、わが広島、長崎に於て実験済であるように、人類を滅亡させるほどの威力あるものであり、その最新のものの破壊力は、更に何百倍かといわれるにおいては、良識ある二大国民は、先んじて用いるとは考えられないからである。もし原子爆弾を用いるとしても、一挙に相手の全機構を破壊しなければ、自らも即殺されるを免れない。そのようなことは先ず考えられないから

原子力の平和産業への利用は産業界の大革命であることは論言の方が精しかろう。マッチ箱大とか茶碗大のものでとかのもので地球上何年が蓄積されつくとか、太平洋を何万人の船が回回往復するとか云われている。今の何分の一かの燃料で東京へ三十分でゆき、サンフランシスコへ数時間でゆくとか、シャムの米がほんの薄かの時間でくるといえば、石炭を苦労して掘り出す必要もなかろう。米も安くなるであろう。例でいえば鶴ヒとか、新具体化してゆく道、これはいろいろ